

平成 24 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	ユビキチンネオバイオロジー：拡大するタンパク質制御システム
領域代表者	岩井 一宏（京都大学・医学（系）研究科（研究院）・教授）
研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、細胞内タンパク質分解を担うユビキチンシステムを、細胞内シグナル伝達やDNA修飾等への関与という新しい視点を持って解明しようとする提案である。ユビキチン化の多様性や意義など生命現象制御に関わる機構を体系的かつ斬新な切り口で取り上げる提案であり、新学術領域研究として推進するに相応しい。また、ユビキチン修飾は細胞内生理機能制御の根幹を担うと考えられ、その異常は種々の疾患を引き起こすことから、疾患の病態理解に不可欠な研究であり、医学分野への波及効果も期待できる。計画研究は実績のある研究者から構成されており、高い水準の研究成果が期待できる。本研究領域では、生命現象からの視点及び研究アプローチ上の視点から、計画研究が密接に連携して進められるような研究体制が構築されている。一方で、個々の計画研究で得られる成果をどのように統合して新たな学術領域を創成するかという点について留意する必要がある。</p>